

(様式1)

平成28年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 025	提案機関名 自然環境保全センター
<b>要望問題名</b> 丹沢山地におけるシカ生息状況の季節変化の把握について	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 現在、本県ではニホンジカ保護管理に関する各種調査が実施されている。シカの生息状況の季節的な変化に 関係する調査としては、GPS 首輪を装着した行動域追跡が行われているが、丹沢山地全体の密度分布の季節的な 変化については、十分な情報がないのが実情である。シカによる植生への影響等はシカの生息状況の季節的な 変化が影響すると考えられるため、丹沢山地の各地で実施されている自動撮影カメラを用いた調査結果の解析 等により、生息状況の季節変化の把握を試みていただきたい。	
<b>解決希望年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
<b>備考</b>	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	自然環境保全センター	<b>担当部所</b>	研究企画部研究連携課
<b>対応区分</b>	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
<b>試験研究課題名</b> (①、②、④の場合)	シカ森林管理一体的推進手法の開発		
<b>対応の内容等</b>	現在、丹沢山地では高標高のブナ林から低標高の人工林まで各種モニタリングによりセンサーカメラを活用してシカ生息状況を調査しています。また、小仏山地と箱根外輪山の水源の森林においてもセンサーカメラを活用した哺乳類調査を行っています。これらのデータを地域別、時系列に整理することで、季節変化や年次変化をとらえられる可能性があります。そうすることで、ご指摘の課題に対応していきます。		
<b>解決予定年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内		
<b>備考</b>			